



旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信 5月号
令和元年5月8日発行

令和元年スタート

校長 渡邊 重幸



いよいよ、5月1日より新元号「令和」がスタートしました。由来は、「万葉集」の梅花の歌が出典です。「万葉集」とは、奈良時代の日本最古の歌集です。「万葉集」は天皇や皇族、歌人、さらには農民など幅広い階層の人々が読んだ、約4,500首の歌が収められています。

さて、首相官邸で発表された「令和」の意味は、

春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定したそうです。

旭丘中学校の皆さんも、明日への希望をもち、目標に向かって全力で取り組み、大きな花を咲かせてください。私たち教職員は皆さんを応援しています。頑張りましょう！

特別支援教室の開設について

練馬区では今年度から区内全ての中学校に「特別支援教室」を開設しました。名称は「MY STEP UP ROOM」となりました。拠点校（本校の拠点校は豊玉第二中学校）から担任の先生が週に1度来校し、在籍の学校の特別支援教室で指導にあたります。特別支援教育は特別な生徒への特別な支援ではありません。支援が必要な生徒にはなくてはならないものですが、その支援はその他の生徒にもあると便利な支援です。特別支援教室での実践から学び、特別支援教室以外の場面でも活用していくことが大切です。

そこで求められる大人たち（家庭、地域、学校）の役割は、①発達の特徴や個性を理解しようとする、②子供の困り感やニーズを理解しようとする、③子供に寄り添い、一緒に考えようとする、④効果がすぐに現れなくても、地道に根気よく待つ、寄り添うことが大切です。子供たちは個性、興味関心、得意な事や苦手な事、発達の特徴、環境などが一人一人違います。そこに様々な経験と人との関わりが複雑に絡んでいきます。大人になる道のりで、学習や生活、対人関係などでうまくいかなかったり悩んだりすることがあります。特に思春期の多感な時期につまづいてしまうこともあります。自分で乗り越えたり解決したりすることもあります。困り感が長く続いたり対処が難しくなり、自信や意欲をなくしてしまうこともあります。そうするとその後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。すぐに解決策が見付からなくても、すぐに効果が現れなくても、応援してくれる人がいたかどうかで、その後の子供たちの意欲や自信、成長の仕方に深く影響があります。特別支援教育の充実・発展は、全ての子供たちの成長を支え、幸せにつながっていく大切なものです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○対面式 4月10日（水）

生徒会主催の対面式と委員会・部活動説明会がありました。前半は対面式。クラスの代表者が花を受け取り、上級生による校歌の紹介、そして後半は生徒会の組織や部活動の説明がありました。代表生徒は堂々と話し、1年生は熱心に話を聞いていました。



○2年校外学習（都内巡り）4月25日（木）

2年生は大江戸線を中心とした校外学習に出かけました。江戸東京博物館、浅草、東京国立博物館、アメヤ横町、清澄庭園、平和祈念展示資料館、などなど、自分たちで計画した見学地を大きなトラブルもなく回ってくることができました。新江古田で帰着チェックを受ける生徒たちのにこやかな表情は、すてきな一日だったことを物語っていました。自分たちで判断しながら行動する良い学習になり、来年度の修学旅行に繋がるでしょう。



○離任式 4月26日（金）

昨年度末で本校を去られた先生方をお招きして離任式を行いました。

生徒は、旭丘中の一員として、先生方の旭中への思いと旭中生への最後のメッセージを聞いて、旭中の歴史と良き伝統を感じ取ったことと思います。



南前校長先生からは、これからも友達に対する温かい気持ちをもちつづけてほしい。整然と行動できることを大切に、3年生は進みたい進路に進めるように勉強に力を入れてください。2年生は旭丘中の顔としてがんばってほしい。1年生は早く慣れて旭丘中の伝統を引き継いでほしい。D組はまとまって仲良く元気よく生活してほしい。令和という時代を元気よくスタートできるようにとお話がありました。



新山先生からは、旭丘の生徒は一人一人の生活がしっかりしていて、先生の話聞いています。2・3年生は指導力のあるいい先生に教わっていることを大事にしてください。1年生はよく話を聞いて3年間楽しく過ごしてくださいと話がありました。



澤枝さんからは、今まで物が壊れることもなく、学校の中を丁寧に使って掃除もきれいにしてくれてありがとう。外の仕事やモップがけの途中で歌声や楽器の音、元気な声を聞いて自分も勇気がでて仕事ことができました。みんなも困難にぶつかったとき、いろいろな人に相談するといいと思う。ここで働けたことを誇りに思う。みんなも旭丘中の名に恥じないよう勉強や部活に励んでくださいと話がありました。



北村前副校長先生はご欠席でしたが、違った考えをもつ人の重要性を説いた「オッドマン・セオリー」について、メッセージをいただきました。